



「薬-薬連携による副作用シグナル検出システム」の第3回報告会開催

2011年4月1日から山口大学医学部附属病院薬剤部と宇部薬剤師会との連携で行っている「副作用シグナル検出システム」について、システムの改善策や要望等を協議するため、双方で定期的に報告会を開催しています。第3回報告会を以下の日程及び内容で開催しました。

【日時】2012年2月16日(木) 19:30~20:30

【場所】山口大学医学部保健学科S2講義室

【主な内容】

- ・山口大学医学部附属病院薬剤部からの報告
- ・保険薬局からの報告
- ・抗がん剤について part. 2

薬剤師公募のお知らせ

薬剤師を公募しています。

応募締切日：2012年3月2日(金)17時(必着)

選考試験日：2012年3月9日(金)10:00~

採用予定日：2012年4月1日

詳細は、<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/recruit/#ttl01Anchor>を参照してください。

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成24年2月10日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品18品目、剤形・規格追加医薬品6品目、切り替え医薬品2品目、削除医薬品5品目が承認されました。

適正使用のお願い

★イナビル吸入粉末剤 20mg(一般名:ラニナミビルオクタン酸エステル水和物)

＜長時間作用型ノイラミニダーゼ阻害剤＞

10歳代患者の転落死が報告されました(国内1例、詳細不明)。イナビルを含め、抗インフルエンザウイルス薬投与後は、少なくとも2日間は小児・未成年の患者が1人にならないようご注意ください。詳細は、https://www.daiichisankyo.co.jp/med/contents/announce/0001329365348230/pdf/1202right_ina.pdf参照。

★ノルスパンテープ 5mg(一般名:ブプレノルフィン)＜持続性疼痛治療剤＞

処方できる医師は、適正使用講習(e-learning)を事前に受講し、「受講済み医師」としてデータベースに登録された医師のみとなります。

また調剤する薬剤師は、調剤する前に、処方元医師が、e-learningの受講済み医師であるか否かを確認する必要があります。

詳細は<http://www.jshp.or.jp/cont/11/0804-1-1.pdf>参照。

販売移管のお知らせ

★ホスカビル注 24mg/mL(一般名:ホスカルネットナトリウム水和物)＜抗ウイルス化学療法剤＞

販売元:(旧)アストラゼネカ→(2012年1月1日以降)ノーベルファーマ

PMDA からの医薬品適正使用のお願い No.6 医薬品・医療機器等安全性情報 No.287

★ラモトリギンによる重症薬疹と用法・用量の遵守について

◎ラモトリギン(商品名:ラミクタール錠(小児用)2mg、5mg) <抗てんかん剤>

(25mg、50mg) <抗てんかん剤、双極性障害治療剤>

「用法・用量」を遵守せず投与した場合に皮膚障害の発現率が高くなることが示されているため、「用法・用量」を遵守することが平成 20 年 10 月の承認時より注意喚起されている。しかし、平成 20 年 12 月より平成 23 年 11 月までの期間において、スティーブンス・ジョンソン症候群等の重篤な皮膚障害が 397 例報告され、用法・用量が確認された 251 例のうち、約 6 割の 152 例は承認の用法・用量から逸脱した使用だった。

1) 用法・用量を遵守してください

- ・最大 1 日投与量を超えないこと
- ・定められた増量の時期を早めないこと
- ・バルプロ酸ナトリウム (VPA) 併用時には投与開始 2 週間の間は連日投与ではなく、隔日投与すること (成人のみ)

2) 患者さんへ重篤な皮膚障害について服薬指導を行ってください

- ・重篤な皮膚障害などの副作用が出る場合があること
- ・皮膚障害の初期症状が出たらすぐに受診すること
- ・用法・用量を守ること

<初期症状> 眼の充血、咽頭痛、口唇/口腔内のただれ、発熱 (38℃以上)、全身倦怠感、発疹等

★在宅酸素療法実施中の火災による死亡事故について

在宅酸素療法を実施している患者において、喫煙などが原因と考えられる火災により死亡する事故が繰り返し発生しており、平成 23 年にも 5 例の火災による死亡事故が報告されている。在宅酸素療法を受けている間はたばこを吸わないこと、また、酸素濃縮装置等の周辺にストーブ等の火気を近づけないことなどについて、医療関係者、患者やその家族等に、改めて注意徹底をお願いしたい。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>)
又は厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/>) から入手可能。

キュバール吸入補助器具に関するご案内

★キュバール 100 エアゾール(一般名:ベクロメタゾンプロピオン酸エステル) <吸入ステロイド喘息治療剤>

日本小児アレルギー学会および日本アレルギー学会より、喘息治療に使用する吸入補助器具は汎用性があり、かつ空気力学的ならびに臨床的検討がなされているものを用いることが望ましいと提言され、この条件が比較的良好に担保されている「エアロチャンバー・プラス」、「オプティヘラー」「ボアテックス」の 3 種類が推奨されています。

これに伴い、「インスパイアイース」、および「デュオペーサー (マスク付含む)」の提供が 2012 年 3 月末に終了することとなりました。

効能・効果、用法・用量改訂のお知らせ

★エビリファイ錠 3mg、6mg(一般名:アリピプラゾール) <抗精神病剤>

【効能・効果】 双極性障害における躁症状の改善

【用法・用量】 12~24mg を 1 日 1 回。開始用量は 24mg とし、適宜増減。1 日 30mg を超えないこと。

販売中止のお知らせ

★アトック ドライシロップ 40 μ g(一般名:ホルモテロールフマル酸塩水和物) <気管支拡張剤>

販売中止のため在庫限りでオーダ削除。代替薬:メプチンミニ錠 25 μ g。

経過措置期間満了日: 2013 年 3 月末予定。

包装変更等のお知らせ

★エースコール錠 2mg(一般名:テモカプリル塩酸塩)＜胆汁・腎排泄型ACE阻害剤＞

	従来品		変更品
ピロー袋の変更			 「開封後は湿気をさけ、しゃ光してください」の表示を追加。

★スピリーバ吸入用カプセル 18μg(一般名:チオトロピウム臭化物水和物)

＜長時間作用型吸入気管支拡張剤＞

	従来品		変更品
PTPシートの変更			 「温度 25 度を超えるところに保存しないこと」の表示を追加。

★ヘキサックAL液 1%、250ml(一般名:クロルヘキシジングルコン酸塩)＜外用殺菌消毒剤＞

	従来品		変更品
ボトル包装の変更			 製品名の背景色：青色

★セレニカR錠 200mg(一般名:バルプロ酸ナトリウム)＜抗てんかん剤、躁状態治療剤、片頭痛治療剤＞

	従来品		変更品
識別コード			
PTPシートの変更		→	

★ラコールNF配合経腸用液 400ml＜たん白アミノ酸製剤＞

	従来品		変更品
接続口の形状変更	<p>アムシールを剥がし、パルを緩めてパルを取り外す。</p> <p>パルを反転させて取り付け、栄養セットを接続する。栄養セットを接続後、袋の上から中栓(羽型部分)を押して折る。</p>	→	<p>パルを上向きに持ち、キャップをひねり開栓する。上向きのまま、パルに栄養セットを接続する。</p>

★モーラステープ 20mg(一般名:ケトプロフェン)＜経皮鎮痛消炎剤＞

	従来品		変更品
チャック位置の変更		→	
処方(添加物)の変更	その他 2 成分	→	ジブチルヒドロキシトルエン、4-ter-ブチル-4'-メキジベンゾイルメタン、その他 5 成分

★フランドルテープ(一般名:硝酸イソソルビド)＜経皮吸収型・虚血性心疾患治療剤＞

	従来品		変更品
アルミシートの変更		→	 7枚袋の切り口数を2カ所から3カ所へ変更

★20ml プラスチックアンプル製剤各種

	従来品		変更品
アンプルボトルの変更	表  裏 注射液	→	表  裏 注射液
	 生食	→	 生食
	 5%ブドウ糖注	→	 5%ブドウ糖注
	 20%ブドウ糖注	→	 20%ブドウ糖注
	 Ca ²⁺	→	 Ca ²⁺
	 Na ⁺	→	 10%塩化ナトリウム注
	 Na ⁺	→	 Na ⁺
	 Mg ²⁺	→	 Mg ²⁺
	 リンNa ⁺	→	 P _{リンNa⁺}
	 メイロン静注8.4%	→	 メイロン静注8.4%

☆Drug Safety Update No. 206 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名(薬品名)	主な改訂内容
大建中湯 (ツムラ大建中湯エキス顆粒)	※重大な副作用：間質性肺炎…咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常等があらわれた場合、投与中止、速やかに胸部X線、胸部CT等の検査を実施するとともに、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置。

Drug Safety Update No. 206 の最重要、重要な情報を掲載しています。その他詳細情報については、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<http://www.info.pmda.go.jp/>) で確認可能。

削除薬のお知らせ

下記薬剤オーダ中止。

オーダ中止日	商品名	理由
12/19	(院)ヘパリン加生食 1000 単位	ヘパフラッシュ 100 単位/mL シリンジ 10mL 採用のため
	モーラスパップ 30mg 6 枚/袋	モーラスパップ 30mg 7 枚/袋 採用のため
1/23	1% サンピロ点眼液 5mL	コソプト配合点眼液 5mL 採用のため
1/30	ハイゼット細粒 200mg/g	在庫がなくなったため